

日本鐵鋼協會記事

◎理事會

大正十三年九月十七日（水曜日）午後五時より本會事務室に於て理事會を開き左記事項に就て協議せり。

- 一、報告
- イ、八月十日贊助會員松方幸次郎殿より金五百圓寄附の件
- ロ、九月十日終身會員田中泰重殿より會費壹百五拾貳圓納入の件
- ハ、前會計係板垣末治は七月三十一日を以て解雇決定の件
- ニ、七月下旬吳市聯合講演會に於ける功勞者拾名に對し謝禮の爲め紀念品送呈の件

（以上承認）

- 一、入退會者の件（承認）
- 一、九月二十九日、日本鑛業會に於て同會と聯合し、横堀博士の樺太視察講演會開催の件（可決）
- 一、十月二十九日本會に於て（八田工業士並に和田工學博士の）講演會開催の件（可決）
- 一、其他會務に關する件

當日出席者は河村驍君、倭國一君、香村小録君、今泉嘉一郎君、鹽田泰介君等なり。

◎編輯會

大正十三年九月十七日午後五時より本會事務所に於て編輯會を開き會誌第十號の原稿を選定せり、當日出席者は、川上義弘君、田中清治君、三島徳七君、杉村伊兵衛君等なり。

◎理事會

大正十三年九月二十二日（月曜日）午後四時より本會事務所に於て理事會を開き左記事項に就て協議せり。

- 一、報告 九月二十二日終身會員鹽田泰介殿より金壹百五十圓納入の件（承認）
- 一、鐵鋼關稅率改正に關する建議の件
- 右は來九月二十九日評議員會を開催して協議することに決せり。
- 一、其他會務に關する件
- 當日出席者は河村驍君、今泉嘉一郎君、倭國一君、鹽田泰介君、香村小録君等なり。

◎評議員會

大正十三年九月二十七日（土曜日）午後五時より日本工業俱樂部に於て評議員會を開き左記事項に就て協議せり。

- 一、鐵鋼關稅率改正に關する建議の件
- 右は原案に修正を加へ當局に提出することに決せり。
- 一、其他會務に關する件

當日出席者は左の如し。

河村 驍君 鹽田 泰介君 今泉嘉一郎君

倭國 一君 香村 小録君 島岡亮太郎君
 川上義弘君 野田鶴雄君 吉川雄輔君
 日向庄作君 井上禧之助君 桂辨三君
 江藤捨三君 大河内正敏君 横堀治三郎君
 加藤榮君

◎理事會

大正十三年十月八日（水曜日）午後五時より本會事務所に於て編輯會を開き左記事項に就て協議せり。

一、工業品規格統一調査會第一部より照會の橋梁建築其他一般構造用壓延鋼材規格案以下六項に關する件
 右は別段意見無き旨回答することに決せり。

一、入退會者に關する件（承認）
 一、會員名簿印刷の件

會員名簿は例年年末に發行する筈なるが、本年は去る三月に於て發行したるを以て本年末には發行せず、明年四月即ち本會總會過ぎ役員の改選後に於て發行することに決定せり。

一、其他會務に關する件
 當日出席者は河村曉君、香村小録君、鹽田泰介君等なり。

◎鐵鋼關稅率改正に關する建議

大正十三年九月二十七日評議員會に於て決議せる鐵鋼關稅率改正に關する建議は同十月三日會長河村曉氏並に理事倭國一氏同道の上内閣總理大臣、大藏大臣及び農商務大臣等を歴訪提出せられたり。

◎編輯會

大正十三年十月八日午後五時より本會事務所に於て編輯會を開き會誌第十一號の原稿を選定せり、當日出席者は川上義弘君、鹽澤正一君、杉村伊兵衛君、田中清治君、三島徳七君等なり

◎圖書寄贈

大正十三年十月中寄贈を受けたる圖書左の如し。

- 一、戰前戰後に於ける英米佛國の所得稅々率調 日本經濟聯盟會殿
- 一、船舶建造及修繕用物品承認關係法令 逓信省管船局殿
- 一、工業調査彙報第二卷第二號 農商務省工務局殿

◎九月二十四日講演會狀況

去る九月二十四日午後六時半より日本工業俱樂部に於て講演會を開催せり、來會者四十餘名あり、講演の内容左記の通りにして午後九時四十分散會せり。

第一席

鐵鑛の還元就て

嘉村平八君

（講演時間一時間四十分）

本講演の或部分は既に會誌本年第七號に掲載せるが當日講演せる條項次の如し。

- 一、製鐵法の歴史
- 二、鐵鑛の還元作用に於ける化學的反應
- 三、鐵、炭素及酸素間に於ける化學平衡
- 四、鐵鑛の適當なる還元溫度
- 五、鑛石の還元速度
- 六、鑛石の種類に依る還元速度の比較
- 七、還元適當なる鑛石の大きさ
- 八、還元後の瓦斯

中に於ける二酸化炭素の割合 九、還元鐵 十、低溫還元法に於ける必要なる熱量 十一、鎔鑪に於ける必要なる熱量 結論に於て今後吾人の努力に依て直接法により鑛石より直に鐵又は鋼を造る可能性ありと論ぜり。講演終て今泉博士並に梅津七藏君等よりの質疑應問あり。

次で河村會長より左の挨拶ありたり。

鐵鑛の研究は實に目下の急務なり、俵博士も數年前より本邦の鐵鑛研究の必要を唱へらる、最近本邦に於ては漸次該問題の研究歩賦を進めつゝあるが其の結果當業者に裨益する所尠からず、嘉村君は本研究に對して造詣淺からず、殊に今回は九州より態々上京せられ、其研究結果を發表せらる特にダイレクト、プロセス問題に就ては將來一層の御研究御盡力を希望す。嘉村君並に本講演に對し種々便宜を圖られたる明治鑛業株式會社の幹部に對し深謝の意を表す。

第二 席

英佛獨米の鐵及石炭に就て

井上禧之助君

(講演時間一時間)

本調査は今春、我國に於ける燃料の獨立問題起れるに其の端緒を發せり、詳細に調査せられたる統計數字に基き米國が今日の如き發達をなしたる歴史より説き起し、大戦中、獨逸軍が克く聯合軍に對抗し得たるものは其の鐵及石炭の製産が聯合軍の夫と相匹敵したるに依るものなることを論じ、畢竟原料の豊富なる所に生産額の豊富なるを見る。

今や本邦鐵工業益々多事なるの時に方り區々たる小問題にのみ捕はれず、宜しく方針を大局に注ぎ此鐵及石炭の原料問題を考究すること實に現下の急務なりとす。講演終て河村會

長より懇切なる挨拶あり一同拍手の下に散會せり。

◎入退會者

前記役員會に於て入退會を承認せられたる會員左の如し。

入會者 (住所及職業)

神戸市川崎造船所長	贊助會員	松方幸次郎	紹介者
兵庫縣明石郡舞子公園山側	終身會員	田中泰重	今泉嘉一
茨城縣日立製作所日立工場	正員	難波光造	佐々木寛造
釜石鑛山株式會社取締役	同	木瀬和吉	野上熊二
戸畑鑛物株式會社	同	菊田多利男	河村小
新潟鐵工場蒲田工場	准員	秋元熊雄	網岡利平
日立製作所日立工場	同	福地丑治	野上熊二
鶴見町淺野造船所	退會者	(住所及職業)	
室蘭市日本製鋼所	正員	瀧野猛司	
播州垂水村	同	水野政雄	
南滿洲鐵道會社、法學士	同	三木正夫	
大阪府下小坂村四九三ノ二	同	朝倉傳次郎	
陸軍省兵器局、砲兵大尉	同	久野次郎太郎	
市外澁谷羽根澤二一四	同	河内權五郎	
播磨造船所	同	毛利要次郎	
陸軍科學研究所	准員	神保敏男	
奈良市東邦電力會社	同	柿崎源三郎	
丸ノ内三井鑛山會社	同	高柳憲次	
市外小松川町日本鑛鋼會社	同	千葉鍊六郎	
大阪市今宮鐵工學校	同	小谷敏彦	
	同	堀内誠	

本會正會員堀籠重治君は大正十三年八月死亡せらる誠ニ哀悼の至りなり

◎製鐵業用語選定 (第十三回)

本年第七、八月號に掲載せる製鐵業用語選定の結果左の如し、之に關して御意見あらば御通知を乞ふ。

英 語	會 員 よ り 回 答 語	決 定 語	摘 要
Polishing rolls. Pushers. Segel Cone. Optical pyrometer. Resistance pyrometer.	研磨ロール 押出機 ゼーゲル氏三角錐、セーゲルコン 光學的高溫度計、光學的熱度計 抵抗高溫度計、抵抗式熱度計	研磨轉子 押出機 ゼーゲル三角錐 光高溫度計 抵抗高溫度計	
Recording pyrometer. Calorimeter. Kish. Shrinkage allowance. Amount of finish.	自記高溫度計、自記熱量計 熱量計 — 縮みしろ、縮み代 仕上しろ、仕上代	自記高溫度計 熱量計 凝 炭 縮みしろ 仕上しろ	
Draught. Vent hole Thermit. Butt Welding. Lap Welding.	抜きしろ 氣抜孔、瓦斯抜き テルミット 半接ぎ 重ね接ぎ、積鋼	抜きしろ 氣抜孔 テルミット 半接ぎ 重ね接ぎ	
Cleft Welding. Welding flux. Autogenous Welding. Oxy-Acetylene Cutting. Round bar.	矢筈接ぎ 鍛接劑 鎔接、瓦斯鎔接 酸素アセチレン切斷 丸 棒	矢筈接ぎ 鍛接劑 鎔 接 酸素アセチレン鎔接 丸 棒	

Half round bar. Flat bar. T iron. Z iron. Armour plate.	半丸棒 平鐵 (鋼) T (丁) 形鐵 (鋼) Z 形鐵 (鋼) 裝甲板	半丸棒 平鐵 (鋼) T (丁) 形鐵 (鋼) Z 形鐵 (鋼) 裝甲板	
Ductility. Stiffness. Malleability. Fragility (Brittleness) Elasticity.	延性、展性 剛性 可鍛性 脆性 彈性	延性 剛性 可鍛性 脆性 彈性	
Mobility (Flowing) Plasticity. Flow. Stress. Strain.	可動性 粘性 流れ 内力、應力、張力 歪み (變形)	流動性 粘性 流れ 内力 歪み (變形)	
Permanent set. Ultimate strength (Load etc.) Breaking strength (Load etc.) Load. Dead load.	永久變形 破斷界 (破斷荷重) 破壞抗張力 荷重 靜荷重	永久歪み (變形) 結局強さ 破壞強さ 荷重 死荷重	
Live load. Working load. Testing machine	活荷重 使用荷重 試驗機	活荷重 使用荷重 試驗機	

<p>Angle of deflection. Deflection.</p>	<p>撓み角、偏角 撓み</p>	<p>撓み角 撓み</p>	
<p>Bending moment. Modulus (Coefficient of elasticity). Resilience. Alternate stress. Repeated stress.</p>	<p>屈曲力率 彈性係數 レジリエンス、活力 反覆内力、交番張力 繰返し内力</p>	<p>屈曲力率 彈性係數 レジリエンス 反覆内力 繰返し内力</p>	
<p>Compressive hardness. Abrasion hardness. Cutting hardness. Extensometer. Quenched bending test.</p>	<p>壓縮硬度 磨滅硬度 切削硬度 延伸側定器 焼入屈曲試験</p>	<p>壓縮式硬度 磨滅式硬度 切削式硬度 延伸側定器 焼入屈曲試験</p>	
<p>Torsion test. Angle of torsion (twist) Compression test. Dynamic test. Static test</p>	<p>振廻試験 振廻試験 壓縮試験 動的試験 靜的試験</p>	<p>振り試験 振れ角 壓縮試験 動的試験 靜的試験</p>	
<p>Endurance test. Hardness number. Proximate analysis. Metallography. Macrostructure.</p>	<p>耐久試験 硬度數 近似分析 金屬組織學 肉眼組織</p>	<p>耐久試験 硬度數 近似分析 金屬組織學 肉眼的組織</p>	

Microstructure. Etching. Electrolytic etching. Etching reagent Heat tinting.	顯微鏡的組織 腐蝕 電解的腐蝕 腐蝕劑 加熱着色	研磨 浮出研磨 研磨機 —— ——	顯微鏡的組織 腐蝕 電解的腐蝕 腐蝕劑 加熱着色	研磨 浮出研磨 研磨機 研磨紙(布) 硫黃(磷)印畫
Polishing. Relief-polishing. Polishing machine. Emery paper (Cloth) Sulphur (phosphor) print.	粒、粒子 粒の成長 點蝕 結晶 結晶學	粒 粒の成長 點蝕 結晶 結晶學	粒 粒の成長 點蝕 結晶 結晶學	
Grain. Grain growth. Pitting. Crystal. Crystallography.				

◎日本鐵鋼協會々員府縣別分布表

府縣	正員	准員	計	愛知	二〇	一六	三六
東京	三五六	一二五	四八一	長崎	一一	一八	三〇
大阪	七六	七七	一五三	岩手	一一	九	二一
福岡	八四	六〇	一四四	宮城	七	五	一二
兵庫	五七	四五	一〇二	京都	三	七	一〇
神奈川	三二	一五	四七	岐阜	一	五	六
廣島	一六	三〇	四六	山梨	一	七	八
北海道	二九	一一	四一	鳥取	五	二	七
				埼玉	四	二	六
				千葉	一	五	六

◎九月二十九日聯合講演會狀況

去る九月二十九日午後五時より日本鑛業會に於て本會及日本鑛業會聯合し横堀治三郎君の樺太視察講演會を開催す、日本鑛業會長到場博士主宰せらる。當日は折悪しく豪雨の爲來會者僅に四十有餘名に過ぎざりしも非常に趣味ある講演なりき。

横堀博士は今夏月餘に亘りて樺太に於ける燃料資源の實地踏査をなせり。「樺太に於ける燃料資源」に就ては目下日露交渉問題進行中なるを以て之を詳述するを許さずと雖も其概要を摘記すれば左の如し。

八月三十日北樺太の亞港に着す、亞港は小樽より三百六十哩の地點にあり、亞港を中心として大石炭層發達せり、此大炭田は所謂露國の禁止區域なり、此中のブーエ炭礦は三菱の經營に依りて稼行せらる、炭質は高島炭と伯仲の間にある優良炭なり、此處に最も興味深きは其露頭に石炭全部天然コークスに變化せることなり、炭田は多く西海岸に發達せり。

東海岸は油田に富み著名なるオハ油田は此中にあり。

オハ油田は日露提携の經營なるが、油田の調査及地質研究の方面に意を注ぎ未だ採油事業の運びに至らず、之よりヌイオ油田、ツイミ川口の油田（稼行中）の實狀を視察せり。

南樺太の炭田は北、中及南部に分る、此中内淵川炭田を視察しにるが層厚六尺乃至十二尺に達し合計四層頗る壯觀なり、川上川炭礦は三井の經營に係り産額十五萬噸の計畫なり。

推内に於ける村井經營の新油田を視察す到着二日前に百石の噴油ありて欣喜に堪へず。

本斗より西海岸に沿ひ國境に連亘する地方の油田は目下頻りに試錐中なるが未だ豫期の結果を見ず。要するに樺太に於ける石炭並に石油資源に就ては未だ地質調査期にして之亦十分に遂行せられざるものなり。

終りに今泉博士は本會を代表して横堀博士に深謝の意を表せらる、時に午後八時なりき。

此外居所不明者正員十六名、准員十八名、合計三十四名あり。

茨城	岡山	福岡	熊本	栃木	長野	新潟	富山	秋田	愛媛	福井	新潟	佐賀	高知	島根	石川	三重	奈良	青森	群馬	香川	静岡	臺灣	朝鮮	滿洲	支那	西洋	合計
四	五	四	三	二	二	二	二	三	二	二	二	二	二	二	二	一	一	一	一	一	一	二	二	二	二	三	八〇七
二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	五〇一
六	五	五	四	三	二	二	二	三	三	二	二	二	三	二	二	一	一	一	一	一	一	一	二	二	四	一	一三〇八